

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

企業や個人から寄贈された食品を、支援を必要とする人達を支える非営利団体に無償で分配する活動をしています。

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101

TEL: 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



vol.
42

2020.06.10発行

事業年度変更のお知らせ

事業年度を、従来の9月～8月期から、4月～3月期に変更しました。そのため2019年度は2019年9月1日～2020年3月31日までの7か月間の変則的な年度となりました。

新型コロナウイルス関連ニュース

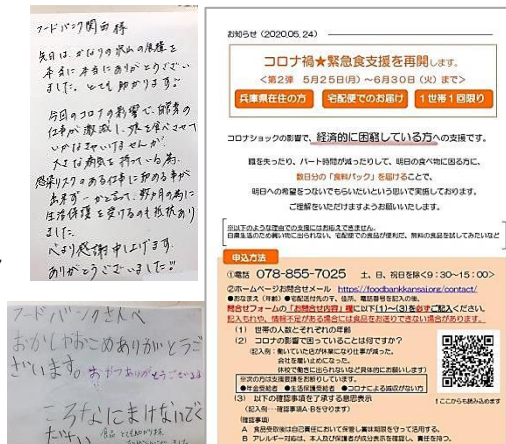
4月7日の「緊急事態宣言」により、今年度は混乱の中でのスタートとなりました。このニュースを発行する今現在も、社会も経済も先の見通せない厳しい状況ではありますが、社会の動静を注視しながら必要な活動を継続したいと考えております。

■新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

事態を受けて、ボランティアスタッフの安全を第一に考え、活動の縮小を実施しました（4月20日～5月31日）。この間、デリバリー、食品引き取り、関連団体への受け渡しを原則中止。緊急支援と子ども元気ネット（母子家庭支援）のみを行いました。

■「コロナ緊急食支援」の取り組み

感染拡大防止を目的に、各種の自粛、店舗の休業などが増加し、失職や収入激減により生活に困窮する人が増えている実態が表れてきたため、「コロナ緊急食支援」を実施しました。（第1弾5月7日～5月18日、第2弾5月25日～継続中）電話とホームページで受付し、数日分の食料を詰めた「食料パック」を宅配便で送付しました。（5月末日現在450世帯、1,577人）



■連携企業からの支援応援

緊急食支援に関しては、各企業様から支援の申し出を多数いただいております。このような状況下での協力体制と迅速な支援に感謝申し上げます。



神戸物産様より



播磨物産様より



サンナッツ様より



マル勝高田商店様より

※ご支援物資の一部をご紹介します。

■クラウドファンディングによる資金調達

緊急食支援は個人向けの支援で、食糧はすべて個別に宅配便で送付します。そのため、送料がかさんでしまう問題を解決すべく、団体として初めての「クラウドファンディング」に挑戦中です。（6月5日現在寄付総額807,000円）



READY FORのページ

新代表よりごあいさつ

このたび、長年にわたりフードバンク関西の先頭を走ってこられた浅葉さんから代表のバトンを受け継ぐことになりました。フードバンクが担う社会的役割、食品をご提供くださる企業様やそれを活用してくださる受取り団体のみなさま、ボランティアのみなさまへの責任を思い、改めて身が引き締まる思いがいたします。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の最中に始まりました。学校の一斉休校、緊急事態宣言により人々の暮らしが大打撃を受ける中、余剰となった食品を引き取り、困窮して食に困る人へ食品を届けることができるフードバンクに対する期待が高まり、当法人へのご支援が増大しました。5月7日から、コロナ禍で食べ物に困窮する個人、世帯への緊急食支援プロジェクトをスタートさせました。予想以上の申し込みを受け、一時中断せざるを得ませんでしたが、多くの食品関連企業様からのご協力で食品を揃えられ、プロジェクト継続ができました。食品のご寄贈をいただいた企業、団体、市民の皆様には感謝申し上げます。

緊急支援プロジェクトを継続するにあたっては、当法人内では各担当ボランティアが、テレワークも活用しながら企業他への協力依頼、SNSを活用しての情報発信など、役割分担して力を発揮することができました。新たな試みとしてクラウドファンディングにも挑戦中です。私たちはこれを「コロナ果」と捉え、フードバンクが果たすべき役割をさらに進化させる機会とします。コロナ後の社会が、誰も取り残さない持続可能な社会になるように、各方面に連携を働きかけ、ご支援くださる皆様とともに活動を継続、発展させてまいります。今年度も引き続きご支援賜りますよう、ボランティア一同心よりお願い申し上げます。

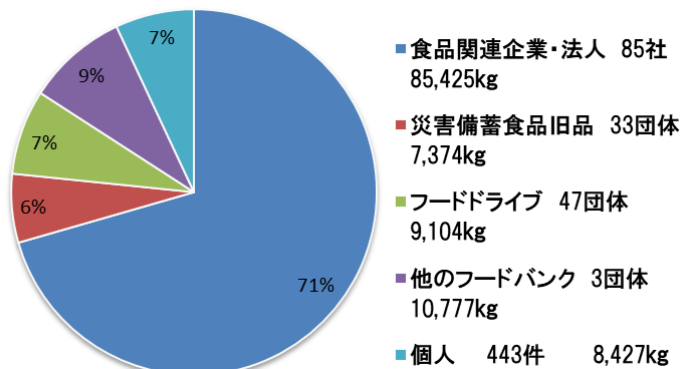
フードバンク関西代表 中島真紀

2019年度事業報告

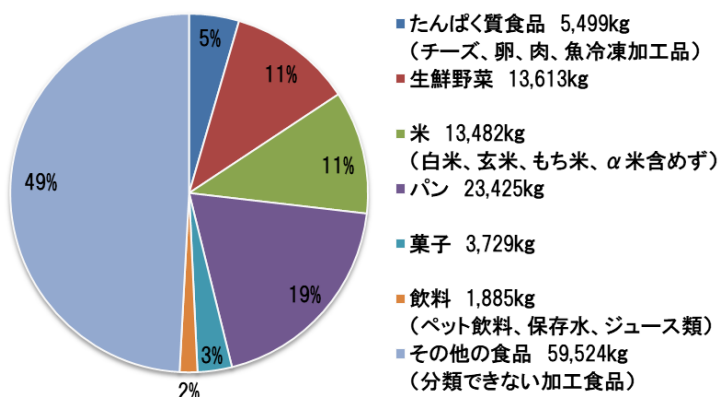
食品の回収状況

本年度（7か月間）の取り扱い食品送料は121.1 t（対前年比3%増）で、入庫先の割合も例年とほぼ同様でした。食品の種類は、主食である米とパンを合わせて30%にはなるものの、米だけで見ると、通年で安定確保には及ばず、米の不足が引き続きの課題です。同じく課題であるたんぱく質食品は微増、生野菜はコストコや播磨復帰センターなどのご協力で増加しています。

2019年度取扱い食品量内訳



食品の種類と取扱量の割合



フードドライブの状況

自治体主導のフードドライブは、神戸市環境局が月1回、西宮市環境局が週1回と、それぞれの頻度で事務所に搬入されました。また、企業による開催では、コープこうべで年2回9月と1月、株式会社カープスで1月から2月にかけて全店舗で開催分のうち近隣の数店舗分がそれぞれ搬入されました。フードドライブの趣旨が市民に浸透してきている事を受けて、回収食品の種類や品質にミスマッチが減ってきています。当法人では、検品後、主に食のセーフティネット事業（困窮者への緊急食支援）や母子世帯への食支援に活用しています。

企業からの食品寄贈の状況

「ごはんのおかず」になる食品の寄贈を増やす目的で、企業への働き掛けを強化。株式会社くらこん、株式会社ロック・フィールド、株式会社泉平など、地域の有力食品メーカーが新規提供企業になりました。渉外チームは、イベントを通じた協力要請や経済団体へのアプローチ、行政からの紹介およびホームページからの問い合わせを中心に、新規協力企業の開拓を進めています。食品ロス削減の問題意識に加え、SDGsの機運に呼応するべく企業の関心の高まりがみられます。

運営費について

フードバンク関西では、活動を維持するための運営費を、活動に賛同して下さる賛助会員の年会費および一般市民、団体、企業からの寄付金と、各種の助成金でまかっています。助成金に関しては昨年度に受領した「こども未来応援基金」の残額に加え、パブリックリソース財団からの「高山弘子基金」「はる基金」の助成を受けました。

運営費の確保については、今後とも大きな課題です。近年活動の幅と量が増えるに伴い、事務所賃料や光熱費などの固定費や、食支援の送料など、支出が増大する傾向です。従来は、高額な助成金を得る機会に恵まれ収支を保ってききましたが、今後は助成金依存傾向の運営ではなく、賛助会員を含めた一般の寄付を増やして、安定的継続的な運営が図れるよう、広報活動に注力すべきと考えています。

■支援金の内訳 2019年度(7か月間)					
支援の種類	合計	個人		法人	
正会員会費	270,000円	27件	270,000円	—	—
賛助会員会費	3,009,000円	145件	631,000円	142件	2,378,000円
寄付・募金	5,900,421円	213件	2,614,388円	35件	3,286,033円
ラッフル寄付	492,000円	77件	492,000円	—	—
助成金	1,176,800円	—	—	9件	1,176,800円
合計	10,848,221円	462件	4,007,388円	186件	6,840,833円

2019年度収支報告（2019年9月1日～2020年3月31日）					
収入の部			支出の部		
会費（正会員・賛助会員）	3,279,000円	事業費	食品搬送費	2,006,583円	
一般寄付	6,392,421円		交通費	959,931円	
助成金	1,176,800円		消耗品費	824,903円	
その他の収益	1,498,525円		賃借料	1,958,028円	
			その他の経費	3,611,490円	
		管理費		976,265円	
経常収入合計	12,346,746円	経常支出合計		10,337,200円	
		経常収支差額		2,009,546円	

回収した食品の活用について

非営利団体への無償分配

寄贈を受けた食品の主たる活用先としては、支援を必要とする人達を支える団体、福祉施設があります。本年度の支援数は、子ども食堂を含めて125団体でした（昨年度と比して6団体増加）。受取団体の皆様には、時々こちらの都合で必要量以上の引取をお願いしたり、お米が不足して配れない月がある等、状況に応じた分配を柔軟に受け入れていただき、フードバンク事業のパートナーとしてご協力をいただいています。

子ども元気ネットワーク事業

貧困母子世帯を支援する「子ども元気ネットワーク」事業では、本年度連携する団体を増やし、支援世帯数60世帯を目標として活動しました。支援世帯を選定し相談事業を引き受ける団体として、DVシェルター運営の「ウィメンズネットこうべ」「いくの学園」に加え、子ども食堂の運営主体「NPO法人ケアット」「あこう子ども食堂」、母子生活支援施設「伊丹深爱館」「ファミリエ光」「コーポ歌敷山」「サン野菊」、京都の民間DVシェルター「アウンジャ」、シングルマザー支援団体「しんぐるまざーず・ふぉーらむ・関西・神戸ウェスト」が加わりました。この事業には、昨年度から引き続き、株式会社神戸物産が正規食品を毎月世帯数分支援くださり、個人では埼玉県Nさんが米などを寄贈くださるなど、支援の輪が広がっています。



活動報告書



神戸物産からの寄贈



お礼のお便り

食のセーフティネット

様々な理由で困窮し、食糧不足に陥った世帯に対して、行政の福祉担当部署、社会福祉協議会の地域福祉生活相談担当部署からの支援要請を受けて食品を無償提供しています。支援世帯に例えばガスコンロはあるか？などのライフラインの状況に応じて食品を選定し、およそ1週間分の分量を目安としています。

事業協定先／尼崎市、高砂市、社会福祉協議会（芦屋市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、加東市、猪名川町、神戸市東灘区、神戸市兵庫区）、兵庫県郡部12町を対象地域とする1民間事業所

2019年度（4月～3月）の支援件数は666件、総支援者数は1227人でした。昨年度と比較して、支援件数は63件、総支援者数262人の増加となりました。

■「食のセーフティネット」支援数の推移			
年度(4月～3月)	2017年度	2018年度	2019年度
支援件数(件)	521	603	666
支援者数(人)	810	965	1227

子ども食堂支援事業

当法人が事務局を担ってきた兵庫子ども食堂ネットワークは、今年度末の登録数は57団体。2019年4月より、子ども食堂運営者の中から選出された代表、副代表を置く体制をスタートさせ、2020年2月には会計担当も決まって、組織の形が整ってきました。また希望する子ども食堂18団体に食品提供も行い、食堂を通じた情報により14の困窮世帯に食支援も行いました。

また株式会社神戸物産、株式会社石光商事、ネスレ日本株式会社などの支援も得て、企業を巻き込んでのネットワーク活性化が進んでいる点も大きな成果です。



子ども食堂ネットワーク会議

2020年度取り組み課題

食品（特に米）の回収量確保

米については、従来から安定供給が課題になっています。例年は夏場に在庫が危機的な状況になりますが、昨年度は3月から米不足状態になり、食のセーフティネットやひとり親支援のためのお米確保のため、大半の福祉施設・団体への米の提供を休止せざるを得ませんでした。米は市場において余剰になりにくい食品であるという事情もあるため、引き続き供給方法を模索していく必要があります。流通関係企業だけでなく生産者にも協力を広げていくために、当法人の活動趣旨を伝え、一緒になって社会課題である子どもの貧困、食の問題に取り組める関係を築いていきたいと思っています。

他団体や企業との連携による事業の拡充

複数の企業や生活協同組合との連携は、単に「余剰食品の寄付」という関係にとどまらず、食品の持ち込みや施設への配送、子ども食堂の運営援助などの協働を通じて本年度に大きく前進しました。社会課題解決に取り組む関係作りを一層拡大できるよう、対象企業や団体の掘り起こし、また支援の呼びかけを積極的に進めていきます。

ボランティアのチーム化の促進

昨年度からボランティアミーティングを2か月に一度のセミナー形式にして研修の機会としました。大所帯になったボランティアが、さらに有機的に活躍できるように、また各事業へ積極的に参加できるように、プロジェクト毎にチームを組織してつながりを強化していく方向です。これまでに、渉外活動チーム、子ども食堂チーム、子ども元気ネットワークチーム、ホームページ検討チームが、既に活動しています。本年度はさらにチームでの取り組みを推進し、チーム内の議論や役割分担を通して、ボランティア一人一人がプロジェクトを動かす力量をつけていくことで、当法人の活性化、体質強化につなげたいと考えています。

2019年度 PLAYBACK

10/06

自主イベント

「KOBEストップthe食品ロス」開催

10月の「世界食糧月間」にあわせて、昨年に続きイベントを開催しました。神戸市の岡本商店街とのコラボ企画で、商店街の一角をお借りして、ロス食材を使った軽食の提供や、クイズゲームなど行い、食品ロスの啓発活動をしました。



神戸市のゆるキャラ「ワケトン」ダイエーの「モッ君」も登場

10/19

兵庫県民農林漁業祭に出展

ブース出展をして活動をアピールしました。催し物のお菓子釣りなどが家族連れにも好評で、幅広い層に認知が広がりました。またこれを機に、食品提供企業とのつながりも増え、収穫の多いイベントとなりました。



12/06

ラッフルキルト開催

毎年恒例のラッフルキルトを開催しました。本年度は、例年と違い、神戸市のレストランで開催しました。



01/31

新車両が登場！

在日米国商工会議所関西支部から日産キャラバンを寄贈していただきました！これを機に旧車両を廃し、新キャラバンを法人車両として活用します。食品回収やデリバリーに欠かせない大型車両です。大切に使用させていただきます。



ご寄付のお願い

クレジットカードから手軽に寄付ができます！

- 公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/donate-money/>
 - 寄付サイト GiveOne(ギブワン) <https://www.giveone.net/>
 - つながる募金 <https://www.softbank.jp/>
 - 郵便振替は窓口にて 口座番号00940-4-221867
 - 銀行振込 三井住友銀行芦屋駅前支店 口座番号4032415
- ※いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」



例年は夏場に枯渇するお米が、今年は早々と3月に底をつきました。緊急支援と母子支援の分を残して、施設や団体へのお米を中止せざるを得ない事態でした。そんな中、昨年より「お米いただき隊」と銘打って始めた取組みに、各方面からお米の寄贈を受けました。



12月5日

JA兵庫様を通じて多くの農家さんから糯米の寄付をいただきました。



2月6日

ACCJ(在日米国商工会)様の寄付でJA兵庫六甲様のご尽力により大量に購入しました。

引き続きお米の支援をお願いします！



↑↑こちらからもお申込みできます。